

# 長研だより

## No. 2

発行日

令和元年10月9日（水）

### 所長講話

安藤 昌俊

10月1日（火）の安藤所長の講話があり、リカレント教育の必要性について、自身の体験談を踏まえながらのお話がありました。

「これまでの教員としての力量を冷静に振り返ることが大切」、「教員が子どもから恩師となるかどうかは、「人間性」にかかっている」という言葉が、長期研修生の心に響きました。

教員の魅力が伝わってくる講話でした。

### 教科教育課長講話

櫻井 良種

10月2日（水）に教科教育に関する講話がありました。「目的」と「手立て」を明確にし、問いを十分に練ることが授業づくりでは大切であることに、演習を通して気付くことができる内容でした。また、児童生徒を大切にしたい学校経営についても、数校の事例を紹介していただきました。

児童生徒の学びを保障した授業づくりの大切さについて気付かされる内容でした。



### 研究計画検討会実施：研究の方向性について練り上げました



7日に、研究計画検討会を各教科・分野ごとに行いました。

次回の「研究計画発表会」に向けて、研究の方向性について検討しました。「目的と手立ての明確化」、「単元を通した指導計画」等について議論をしました。単元を通して児童生徒につけたい力は何なのかを確認しながら、実態に応じた研究計画を立てることができました。今月の後半には、各学校に戻って授業を行います。児童生徒の笑顔を想像し、授業づくりを進めていきたいと思えます。

「伝える力」をキーワードにして、日々の研修を進めていますが、長期研修生のアイデアで、朝の会に様々なスキルトレーニングを行っています。このような体験を通して、自分の意見を安心して発表することができる学級づくりについても学んでいます。恒例の朝のスピーチ「地域・学校紹介」も楽しい雰囲気で行なうことができます。

